

# 鳥羽谷で育む、心豊かな鳥羽の子

## 若狭町立鳥羽小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	13回 19日

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	41人
授業ボランティア (含：低ボラ)	83人
登下校支援ボランティア	2600人
その他 ( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさとの環境を考えよう」

#### 鳥羽川に住む魚類の観察会

- めあて
  - 鳥羽川に住む魚類の観察を通して、身近な自然に住む魚類のことを知ったり、絶滅危惧種について考えを深めたりする。
- 場所・対象
  - 三生野付近開水路・全校から希望者が参加
- 成果と課題
  - 『鳥羽川水系を守る会』主催の事業に参加する形で本事業を行った。今回は準絶滅危惧種である『ムギツク』が捕獲できず、児童は鳥羽谷の環境の変化を危惧していた。



#### ミニビオトープ (メダカ池) 作り

- めあて
  - ミニビオトープ (メダカ池) 作りを通して、生き物を大切に育てようとする態度を育てる。
- 場所・対象
  - 鳥羽小学校・野外活動クラブ
- 成果と課題
  - 造成工事は職員で行い、メダカの引っ越し作業などを野外活動クラブで実施した。ある程度の水深があるため、メダカにとって住みやすい環境になっていると思われる。次年度は、えさやり当番などをきちんと決め、子ども達自身で管理していけるように指導したい。



#### ホタル幼虫観察会

- めあて
  - 小原区でホタルの幼虫採取をし、身近で豊かな自然を感じ取る。
- 場所・対象
  - 小原付近開水路・全校から希望者が参加
- 成果と課題
  - 『鳥羽川水系を守る会』主催の事業に参加する形で本事業を行った。昨年春から夏にかけての大雨で、カワニナが減っており、その影響かホタルの幼虫の姿も少なかった。今夏の成虫の数が心配である。

